



中崎久雄町長が再任！

創志・継志

次世代へ継げる政策

大磯町長

中崎久雄

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、清しい平成27年の新春を迎えられていることと、心からお喜び申し上げます。

昨年中は町政各般にわたり、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、昨年11月に行われた町長選挙において、皆さまからの力強いご支援を賜り、引き続き、大磯町長という重責を担わせていただくことになりました。

皆さまから託された期待を光榮に存じますとともに、責務の重大さを真摯に受け止め、初心を忘れず、次の世代に継げるまちづくりを「創志・継志」、ゆるぎない信念を持ち、取り組んでまいります。

この継続性によるまちづくりは、これまで1期4年間で交代してきた町政運営に終止符を打ち、継続性を町民の皆さまが望まれ、また、私が前任期の中で一歩、一歩、実現に向け、進めてきました取り組みを、皆さまにご理解いただけた結果であると受け止めさせていただきます。

そのため、前任期の4年間で特に力を注いできた「おあしす事業」など、健康増進や健康寿命延伸などへの取り組み、4年間で157回、延べ3,275人にご参加いただいた「卓話集会」の開催、大磯を知っていただき、来ていただく、交流人口を増加させることにより、その先の定住人口の増加につなげる「観光の核づくり事業」など、皆様と一緒に進めてきました取り組みなどを、これから4年間も継続し、更に発展させていく考えです。

昨年の12月1日に、旧大磯町と国府町が合併して60周年を迎えました。先人たちが築き上げた豊かな自然、また、誰もが安心して暮らすことができ、大磯の未来、次の世代に継げていくためのまちづくりに向け、今、必要なことを、全力を尽くし進めてまいりますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまにとりまして、本年が幸多き実りある年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。